



光星
甲子園だより

はら みずと
原 瑞都 捕手(3年)



長打力が自慢の主砲。
甲子園では2回戦まで9
打数1安打と調子を落と
しているが、「監督やコ
ーチのおかげで、少しず

主砲「次戦は“顔晴る”」

つ感覚は戻ってきてい
る」と話す。
好きな言葉は、最後に
顔が晴れるよう努力する
という意味の「顔晴る(が
んばる)」。この言葉を
教えてくれた父が、今で
も最高の理解者だ。4番
の責任を果たすため、自
分を信じてくれる父のた
め、「次戦はしっかり顔
晴りたい」。

(奈良県・片塩中出身、
178センチ、79キロ、右投
げ左打ち)